BOM for Windows Ver.8.0

ライセンスガイド

免責事項

本書に記載された情報は、予告無しに変更される場合があります。セイ・テクノロジーズ株式会社は、本書に関していかなる種類の保証（商用性および特定の目的への適合性の黙示の保証を含みますが、これに限定されません）もいたしません。

セイ・テクノロジーズ株式会社は、本書に含まれた誤謬に関しての責任や、本書の提供、履行および使用に関して偶発的または間接的に起こる損害に対して、責任を負わないものとします。

著作権

本書のいかなる部分も、セイ・テクノロジーズ株式会社からの文書による事前の許可なしには、形態または手段を問わず決して複製・配布してはなりません。

商標

本ライセンスガイドに記載されている「BOM」はセイ・テクノロジーズ株式会社の登録商標です。また、本文中の社名、製品名、サービス名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

なお、本文および図表中では、「TM」（Trademark）、「(R)」（Registered Trademark）は明記しておりません。

目次

本書について

本書の目的

製品表記

第1章 定義

1. 用語の定義

2. コンピューター1台の定義

第2章 ライセンスの考え方

1. BOMの監視方法

2. ライセンスの種類と利用できる項目

3. 製品情報

(1) 製品情報

(2) オプション製品について

(3) 購入可能なバージョンについて

(3) バージョンアップ製品について

4. ライセンスの数え方

(1) 前提

(2) 監視対象コンピューターの環境別におけるライセンスの数え方

第3章 構成例

1. Windows

(1) 監視対象：Windowsコンピューター（サーバーOS・物理）1台 - ローカル監視の場合

(2) 監視対象：Windowsコンピューター（サーバーOS・物理）1台 - 代理監視の場合

(3) 監視対象：Windowsコンピューター（サーバーOS・物理）2台 - ローカル監視と代理監視の場合

(4) 監視対象：Windowsコンピューター（サーバーOS・物理）2台 - 相互監視の場合

(5) 監視対象：Windowsコンピューター（サーバーOS・物理）1台、Windowsコンピューター（サーバーOS・仮想）2台

(6) 監視対象：Windowsコンピューター（サーバーOS・物理）2台 - クラスターの場合

(7) 監視対象：Windowsコンピューター（サーバーOS・仮想）1台 - ライブマイグレーション（vMotion、Hyper-Vレプリカ）の場合

(8) 監視対象：Windowsコンピューター（サーバーOS・仮想）2台 - クラスター構成（アクティブ/スタンバイ、仮想基盤は同一）の場合

(9) 監視対象：パブリッククラウドサービス上のWindowsコンピューター（サーバーOS・仮想）2台

(10) 監視対象：Windowsコンピューター（クライアントOS・物理）10台 - ローカル監視の場合

(11) 監視対象：Windowsコンピューター（クライアントOS・物理）2台 - 代理監視の場合

(12) 監視対象：Windowsコンピューター（サーバーOS・物理）1台、Windowsコンピューター（クライアントOS・仮想）2台

(13) 監視対象：Windowsコンピューター（サーバーOS・物理）1台、Windowsコンピューター（クライアントOS・仮想）200台

2. Linux

(1) 監視対象：Linuxコンピューター（物理）2台

(2) 監視対象：Linuxコンピューター（仮想）2台、Windowsコンピューター（サーバーOS・物理）1台

3. VMware

(1) 監視対象：ESXiホスト2台

(2) 監視対象：ESXiホスト1台、Windowsコンピューター（サーバーOS・物理）1台、Windowsコンピューター（サーバーOS・仮想）2台

(3) 監視対象：ESXiホスト2台、Windowsコンピューター（サーバーOS・仮想）2台、Linuxコンピューター（仮想）2台

4. Oracle DB、SQL Server

(1) 監視対象：Oracle DB 2台、Windowsコンピューター（サーバーOS・物理）1台、Windowsコンピューター（サーバーOS・仮想）2台

(2) 監視対象：SQL Server 2台、Windowsコンピューター（サーバーOS・物理）1台、Windowsコンピューター（サーバーOS・仮想）2台

5. その他

(1) 監視対象：Windowsコンピューター（サーバーOS・物理）3台、Report オプション - 監視対象3台分のレポート作成

(2) 監視対象：複数のネットワーク機器等からSNMPトラップを受信

本書について

本書の目的

'BOM for Windows Ver.8.0 ライセンスガイド'では、BOM for Windows Ver.8.0をご購入いただくうえで必要なライセンス考え方やカウント方法、具体的な構成例を説明します。

製品表記

本ライセンスガイドでは、以下について略称を使用しています。

正式名称、または略していない表記	本ガイドでの呼称（略称）
BOM for Windows	BOM
BOM for Windows Ver.8.0	BOM 8.0
BOM for Windows Ver.7.0	BOM 7.0
BOM for Windows Ver.8.0 基本パッケージ	基本パッケージ
BOM for Windows Ver.8.0 サーバー追加ライセンス	追加ライセンス
BOM for Windows Ver.8.0 ゲストOS用追加ライセンス	ゲストOS用追加ライセンス
BOM Oracle オプション Ver.8.0	Oracle オプション
BOM SQL Server オプション Ver.8.0	SQL Server オプション
BOM Linux オプション Ver.8.0	Linux オプション
BOM Linux オプション Ver.8.0 ゲストOS用追加ライセンス	Linux オプションゲストOS用追加ライセンス
BOM VMware オプション Ver.8.0	VMware オプション
BOM Report オプション Ver.8.0	Report オプション
BOM ゲストCL オプション Ver.8.0	ゲストCL オプション
BOM 8.0 マネージャー	BOMマネージャー
BOM 8.0 監視サービス	BOM監視サービス
Oracle Database	Oracle DB
Microsoft SQL Server	SQL Server
VMware ESXi ホスト / VMware vSphere ESXi ホスト	ESXi ホスト
Amazon Web Services	AWS

正式名称、または略していない表記	本ガイドでの呼称（略称）
Microsoft Azure	Azure

第1章 定義

1. 用語の定義

本ライセンスガイドで使用する用語の定義は、次に掲げるとおりとします。

用語	定義
コンピューター	１つのオペレーティングシステムが動作するコンピューターを意味するものとします。オペレーティングシステムが複数動作するような場合は、複数の「コンピューター」とみなします。
監視対象コンピューター	BOM監視サービスがインストールされているコンピューター、あるいはBOM監視サービスがインストールされているコンピューターを経由して監視されるコンピューターを意味するものとします。
クライアントコンピューター	Windows クライアント OSが1つだけ動作するハードウェアを意味するものとします。

2. コンピューター1台の定義

テクノロジーの進化により、コンピューター1台の定義が曖昧になってしまったため、弊社では以下のように定義します。

用語	定義
仮想コンピューター	VMwareやHyper-V等の製品で1台のハードウェアに複数の仮想コンピューターが起動している場合、物理コンピューター（ホストOS）、仮想コンピューター（ゲストOS）それぞれを1台のコンピューターとして扱い、ライセンスが必要となります。
パブリッククラウドサービス上の 仮想コンピューター	AWSやAzure等に代表されるパブリッククラウドサービス上に仮想コンピューターが起動している場合、仮想コンピューターを1台のコンピューターとして扱い、ライセンスが必要となります。
クラスターサーバー（HA構成含む）	各ノードにBOM監視サービスを導入する場合、それぞれのノードを1台のコンピューターとして扱い、ノード台数分のライセンスを必要とします。 クラスターにより提供される仮想コンピューターを監視する場合、仮想コンピューターを1台のコンピューターとして扱い、1ライセンス必要となります。
コールドスタンバイ	アクティブサーバー、スタンバイサーバーが同時に動作することがない場合でも、それぞれは別のコンピューターとして扱い、2ライセンス必要となります。
FTサーバー	FTサーバー上で動作するOSのみを監視する場合、そのOSに対し1ライセンス必要となります。 ベースOSが存在する際に、ベースOSに対してもBOM監視サービスを導入する場合には、ベースOSにもライセンスが必要となります。
Hyper-Vレプリカ ライブマイグレーション vMotion	実際に稼働しているOSは1台であるため、1ライセンス必要となります。

※ 本定義はあくまでもBOMのライセンスです。

※ 各OSやアプリケーションではそれぞれのライセンス体系に合わせて適切なライセンスをご用意いただく必要があります。

第2章 ライセンスの考え方

本章では、BOM 8.0におけるライセンスの考え方を説明します。

1. BOMの監視方法

ライセンスの考え方における前提として、BOMの監視形態を説明します。

BOMの監視形態は、BOM 8.0を導入したコンピューター自体の監視を行う"ローカル監視"とBOMをインストールしていない他のコンピューターをネットワーク経由で監視する"代理監視"の2種類の監視方法から選択できます。なお、監視方法の詳細に関しては'BOM for Windows Ver.8.0 ユーザーズマニュアル'をご確認ください。

2. ライセンスの種類と利用できる項目

BOMのライセンスは、下表の5種類（オプション製品を除く）で構成されています。

	インスタンス新規作成	インスタンス追加作成	ローカル監視	代理監視	リモート接続	ホストOS監視	ゲストOS監視
基本パッケージライセンス	○	○	○	○	○	○	○
追加ライセンス	△[※1]	○	○	○	○	○	○
ゲストOS用追加ライセンス	△[※1]	○	○	○	○	×	○
クライアント版ライセンス[※2]	○[※3]	○[※3]	○	×	○	△[※4]	△[※4]
評価版ライセンス[※5]	○	△[※6]	○	○	○	○	○

※1 追加ライセンスは、基本パッケージライセンスを所持している場合のみ購入が可能です。基本パッケージライセンスを所持していれば、別コンピューターへのインスタンス作成は可能です。

※2 クライアント版ライセンスはインストール時に自動でOSを識別しクライアントOSだった場合にライセンスを割り当てます。

※3 クライアント版ライセンスを使用して作成できるインスタンスは1つのみです。

※4 OSがクライアントOSであり、ローカル監視であった場合のみ使用できます。

※5 評価版ライセンスの有効期間はインストール時からカウントされ、30日を経過すると監視ができなくなります。

※6 評価版ライセンスを使用して作成できるインスタンスは1つのみです。同じ評価版ライセンスキーは使用できません。'BOM for Windows Ver.8.0 インストールマニュアル'記載の異なる評価キーを使用してください。

3. 製品情報

(1) 製品情報

BOM 8.0の製品情報や価格は、弊社ウェブサイト内の''BOM for Windows Ver.8.0 価格・ライセンス - パッケージライセンス'をご確認ください。

(2) オプション製品について

オプション製品の購入には、基本パッケージが1本以上必要です。BOMのオプション製品は以下の5製品です。
製品の詳細は弊社ウェブサイト、または各製品のユーザーズマニュアルをご確認ください。

- Oracle オプション
- SQL Server オプション
- Linux オプション
- VMware オプション
- Report オプション

(3) 購入可能なバージョンについて

追加ライセンスやオプション製品は、すでに所持している基本パッケージの同一のバージョンのみ購入可能です。そのため、旧バージョンの基本パッケージしか所持していない場合は、新バージョンの追加ライセンスやオプション製品は購入できません。

所持している基本パッケージのバージョン	購入可能な追加ライセンスやオプション製品のバージョン
BOM 8.0	BOM 8.0
BOM 7.0、BOM 8.0	BOM 7.0、BOM 8.0
BOM 7.0	BOM 7.0

(3) バージョンアップ製品について

バージョンアップの際には必ず基本パッケージのバージョンアップ製品が必要です。ただし、購入可能なバージョンアップ製品は、所持している製品と同一であることが条件です。

所持している製品	購入可能なバージョンアップ製品
BOM 7.0以前の基本パッケージ	旧パッケージからVer.8.0へのバージョンアップ (基本パッケージ)
BOM 7.0以前の追加ライセンス、ゲストOS用追加ライセンス	旧ライセンスからVer.8.0へのバージョンアップ (1ライセンス)
BOM 7.0以前のOracle オプション	Oracle オプション 旧 Ver. から Ver.8.0
BOM 7.0以前のSQL Server オプション	SQL Server オプション 旧 Ver. から Ver.8.0

所持している製品	購入可能なバージョンアップ製品
BOM 7.0以前のLinux オプション Linux オプションゲストOS用追加ライセンス	Linux オプション 旧 Ver. から Ver.8.0
BOM 7.0以前のVMware オプション	VMware オプション 旧 Ver. から Ver.8.0
BOM 7.0以前のReport オプション	Report オプション 旧 Ver. から Ver.8.0

4. ライセンスの数え方

(1) 前提

- ライセンスは全てのコンピューターに対して最低1ライセンス発生します。
- BOMをご利用いただくには、1社に付き1本以上の基本パッケージが必要です。
- 基本パッケージは、Windowsコンピューター（物理・仮想問わず）1台分のライセンスとしてご利用できます。
- 1ライセンス当たり設定可能な監視項目数は200件です。200件を超える場合は、同一のコンピューターであっても、2ライセンス必要です。
- 代理監視を利用する場合、代理監視先のコンピューターに対して1ライセンス必要です。
- BOM監視サービス以外の基本コンポーネントは、基本パッケージを1つ以上ご購入いただいていれば無償で利用できます。例としては、以下のようなケースが該当します。
    - BOMマネージャーを管理者の端末にインストール
    - 集中監視Webサービスをオペレーター共有端末にインストール
    - BOMアーカイブデータベースを構築してデータを蓄積
    - アラートフィルターをインストール ※別途、利用登録が必要です。

(2) 監視対象コンピューターの環境別におけるライセンスの数え方

Windowsコンピューター（サーバーOS）	**物理**	基本パッケージ × 物理コンピューター台数 [※4]
	仮想	ゲストOS用追加ライセンス × 仮想コンピューター台数 [※5]
Windowsコンピューター（クライアントOS）	**物理**	ローカル監視：基本パッケージを1本以上購入することで無償で監視可能 代理監視：基本パッケージ × クライアントコンピューター台数 [※4]
	仮想	ゲストOS用追加ライセンス × 仮想コンピューター台数 [※5] or ゲストCL オプション1ライセンスで100台まで可能
Oracle DB [※1]	**物理**	（基本パッケージ+Oracle オプション） × コンピューター台数
	仮想	（ゲストOS用追加ライセンス + Oracle オプション） × 仮想コンピューター台数
SQL Server [※1]	**物理**	（基本パッケージ+SQL Server オプション） × コンピューター台数
	仮想	（ゲストOS用追加ライセンス + SQL Server オプション） × 仮想コンピューター台数

Linuxコンピューター [※2][※3]	**物理**	Linux オプション × コンピューター台数
	仮想	Linux オプションゲストOS用追加ライセンス × 仮想コンピューター台数
ESXホスト [※2][※3]		VMware オプション × ESXi ホスト台数
Report オプション		Report オプションをインストールするコンピューター台数　※同一法人内のみ使用可能です

※1 Windowsコンピューター上のアプリケーションの監視となるため、監視対象台数分の基本パッケージ、追加ライセンス、ゲストOS用追加ライセンスのいずれかとオプション製品のライセンスが必要です。

※2 Windowsコンピューターから代理監視を行うため、監視元コンピューターに基本パッケージ、追加ライセンス、ゲストOS用追加ライセンスのいずれかと監視対象コンピューターに監視対象台数分のオプション製品のライセンスが必要です。

※3 監視元コンピューターの基本パッケージライセンスで監視元コンピューター自身の監視も可能です。

※4 2台目以降は、追加ライセンスでも可能です。

※5 基本パッケージのライセンスが1本も適用されていない場合、1台分は基本パッケージのライセンスでご利用できます。

第3章 構成例

本章では、具体的なライセンスの構成例を説明します。なお、監視形態は記載がない限り"ローカル監視"を想定しています。

1. Windows

(1) 監視対象：Windowsコンピューター（サーバーOS・物理）1台 - ローカル監視の場合

監視対象コンピューター
(Windows・サーバーOS)

ライセンス	型番	数量
BOM for Windows Ver.8.0 基本パッケージ	B80-SV-1P	1

(2) 監視対象：Windowsコンピューター（サーバーOS・物理）1台 - 代理監視の場合

代理監視

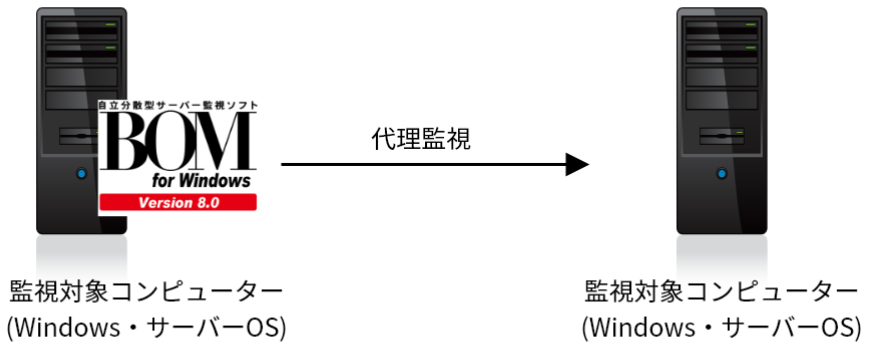
監視元コンピューター
(Windows・サーバーOS)

監視対象コンピューター
(Windows・サーバーOS)

※ 監視元のコンピューターに基本パッケージが1本必要です。

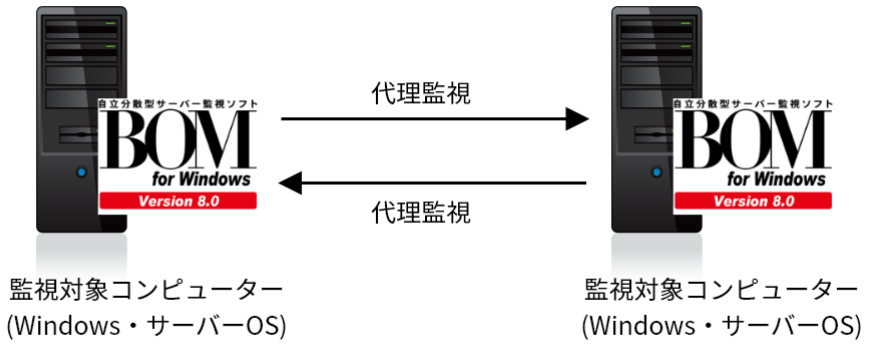
ライセンス	型番	数量
BOM for Windows Ver.8.0 基本パッケージ	B80-SV-1P	1

(3) 監視対象：Windowsコンピューター（サーバーOS・物理）2台 - ローカル監視と代理監視の場合



ライセンス	型番	数量
BOM for Windows Ver.8.0 基本パッケージ	B80-SV-1P	1
BOM for Windows Ver.8.0 サーバー追加1ライセンス	B80-SV-1L	1

(4) 監視対象：Windowsコンピューター（サーバーOS・物理）2台 - 相互監視の場合

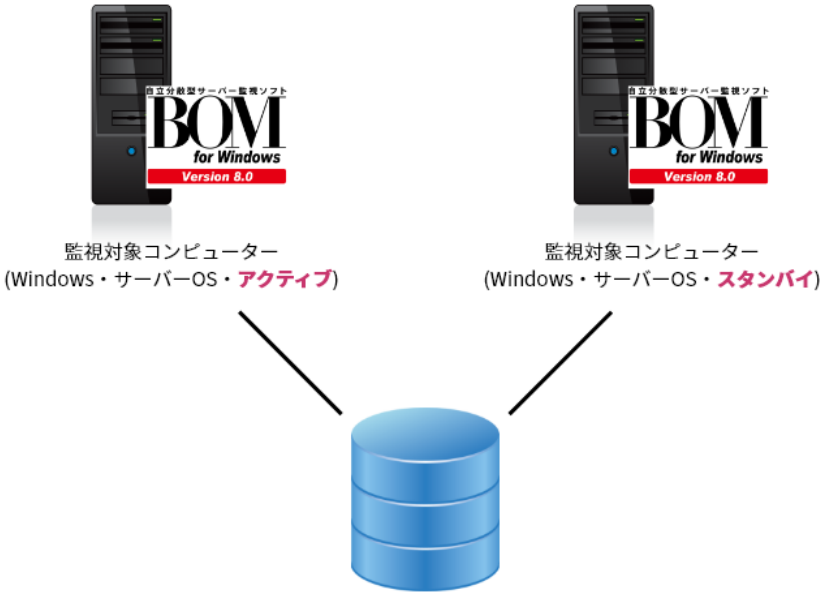


ライセンス	型番	数量
BOM for Windows Ver.8.0 基本パッケージ	B80-SV-1P	1
BOM for Windows Ver.8.0 サーバー追加1ライセンス	B80-SV-1L	1

(5) 監視対象：Windowsコンピューター（サーバーOS・物理）1台、Windowsコンピューター（サーバーOS・仮想）2台

ライセンス	型番	数量
BOM for Windows Ver.8.0 基本パッケージ	B80-SV-1P	1
BOM for Windows Ver.8.0 ゲストOS用追加1ライセンス	B80-SV-1VL	2

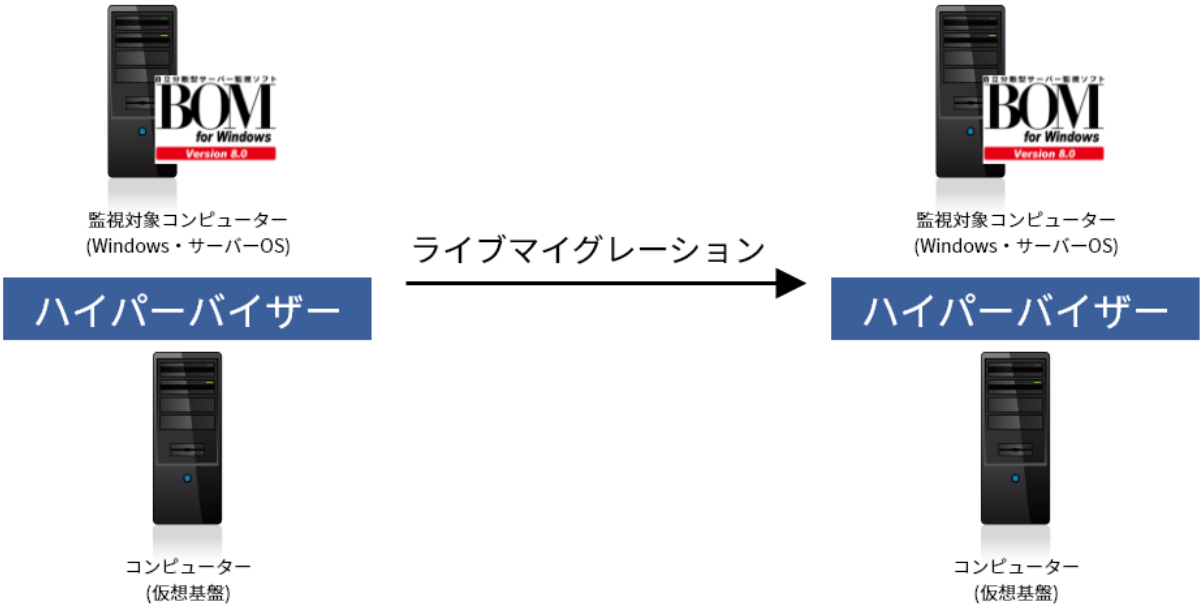
(6) 監視対象：Windowsコンピューター（サーバーOS・物理）2台 - クラスターの場合



ライセンス	型番	数量
BOM for Windows Ver.8.0 基本パッケージ	B80-SV-1P	1

ライセンス	型番	数量
BOM for Windows Ver.8.0 サーバー追加1ライセンス	B80-SV-1L	1

(7) 監視対象：Windowsコンピューター（サーバーOS・仮想）1台 - ライブマイグレーション（vMotion、Hyper-Vレプリカ）の場合



ライセンス	型番	数量
BOM for Windows Ver.8.0 基本パッケージ	B80-SV-1P	1

(8) 監視対象：Windowsコンピューター（サーバーOS・仮想）2台 - クラスター構成（アクティブ/スタンバイ、仮想基盤は同一）の場合

ライセンス	型番	数量
BOM for Windows Ver.8.0 基本パッケージ	B80-SV-1P	1
BOM for Windows Ver.8.0 ゲストOS用追加1ライセンス	B80-SV-1VL	1

(9) 監視対象：パブリッククラウドサービス上のWindowsコンピューター（サーバーOS・仮想）2台

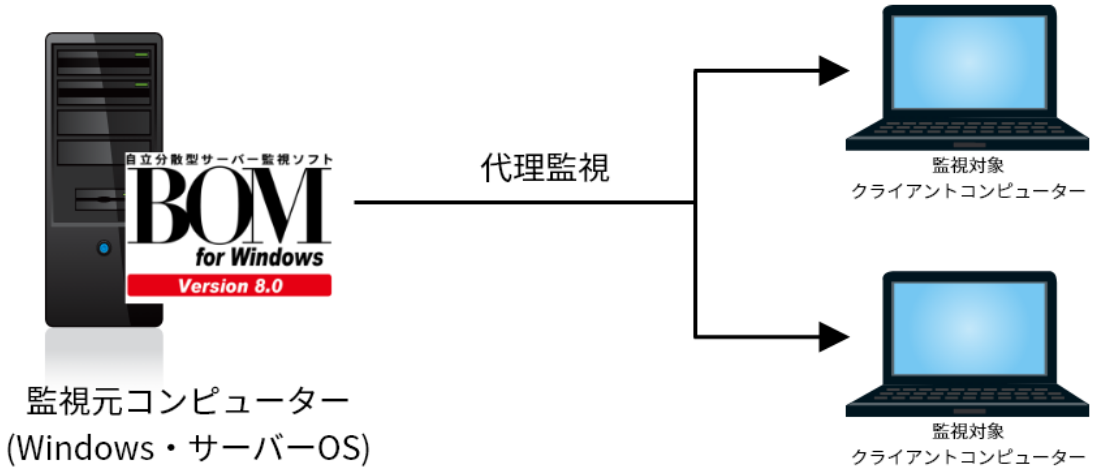
ライセンス	型番	数量
BOM for Windows Ver.8.0 基本パッケージ	B80-SV-1P	1
BOM for Windows Ver.8.0 ゲストOS用追加1ライセンス	B80-SV-1VL	1

(10) 監視対象：Windowsコンピューター（クライアントOS・物理）10台 - ローカル監視の場合

※ クライアントコンピューターをローカル監視する場合に限り、基本パッケージを1つ以上ご購入いただいていれば無償で利用できます。

ライセンス	型番	数量
BOM for Windows Ver.8.0 基本パッケージ	B80-SV-1P	1

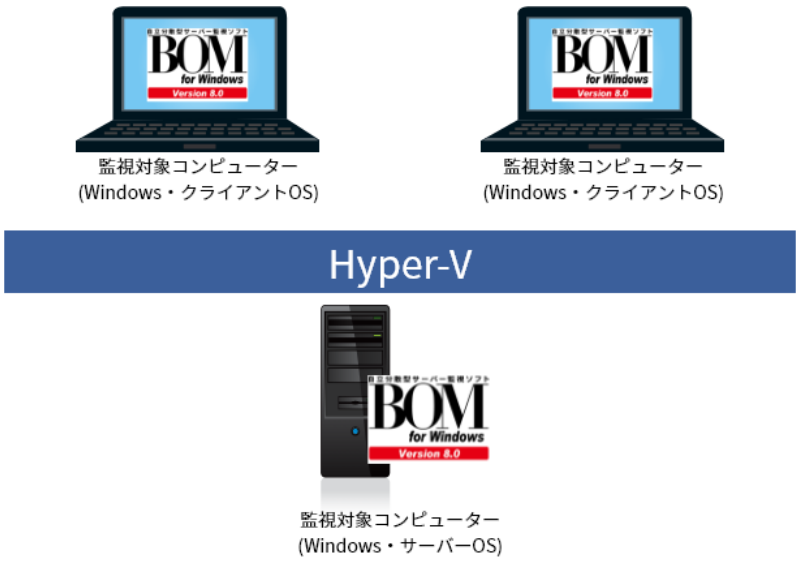
(11) 監視対象：Windowsコンピューター（クライアントOS・物理）2台 - 代理監視の場合



※ 監視元のコンピューターに基本パッケージが1本必要です。

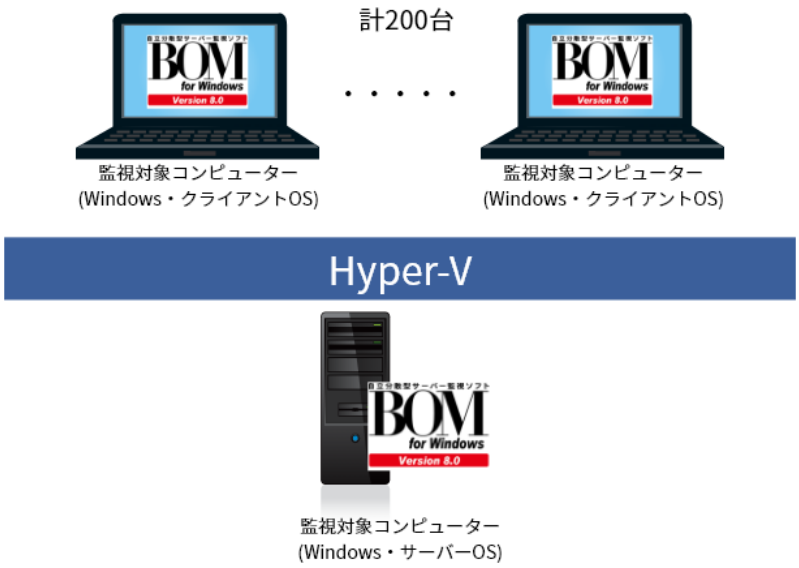
ライセンス	型番	数量
BOM for Windows Ver.8.0 基本パッケージ	B80-SV-1P	1
BOM for Windows Ver.8.0 サーバー追加1ライセンス	B80-SV-1L	1

(12) 監視対象：Windowsコンピューター（サーバーOS・物理）1台、Windowsコンピューター（クライアントOS・仮想）2台



ライセンス	型番	数量
BOM for Windows Ver.8.0 基本パッケージ	B80-SV-1P	1
BOM for Windows Ver.8.0 ゲストOS用追加1ライセンス	B80-SV-1VL	2

(13) 監視対象：Windowsコンピューター（サーバーOS・物理）1台、Windowsコンピューター（クライアントOS・仮想）200台



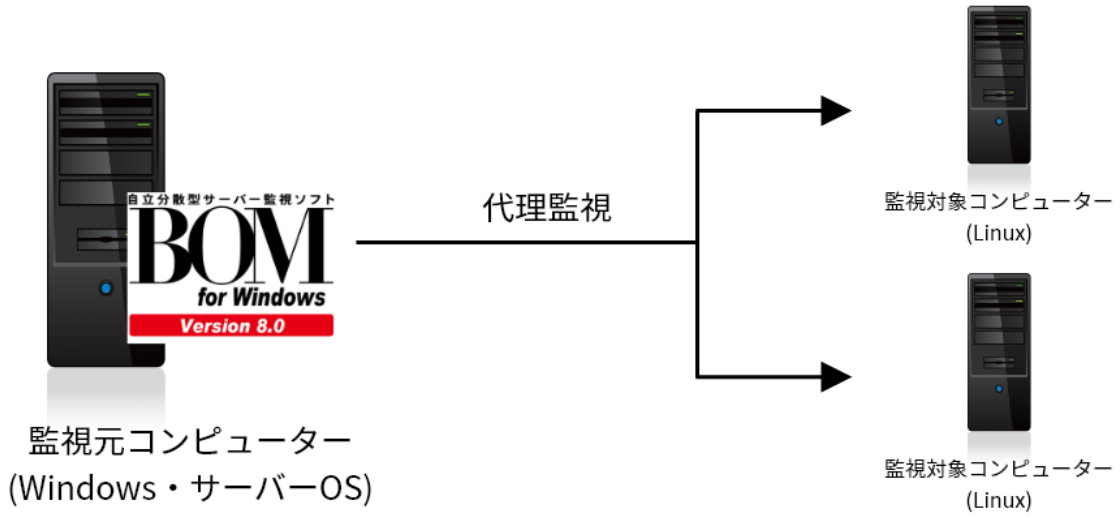
※ BOM ゲストCL オプションは1ライセンスでWindowsコンピューター(クライアントOS・仮想・ローカル監視限定)を100台まで監視できます。

ライセンス	型番	数量
BOM for Windows Ver.8.0 基本パッケージ	B80-SV-1P	1

ライセンス	型番	数量
BOM ゲストCL オプション Ver.8.0	BCL-80-1L	2

2. Linux

(1) 監視対象：Linuxコンピューター（物理）2台



※ Linuxはローカル監視の対象外です。監視元コンピューターより代理監視を利用して監視を実行します。
※ 監視元のコンピューターに基本パッケージが1本必要です。

ライセンス	型番	数量
BOM for Windows Ver.8.0 基本パッケージ	B80-SV-1P	1
BOM Linuxオプション Ver.8.0	BLI-80-1L	2

(2) 監視対象：Linuxコンピューター（仮想）2台、Windowsコンピューター（サーバーOS・物理）1台

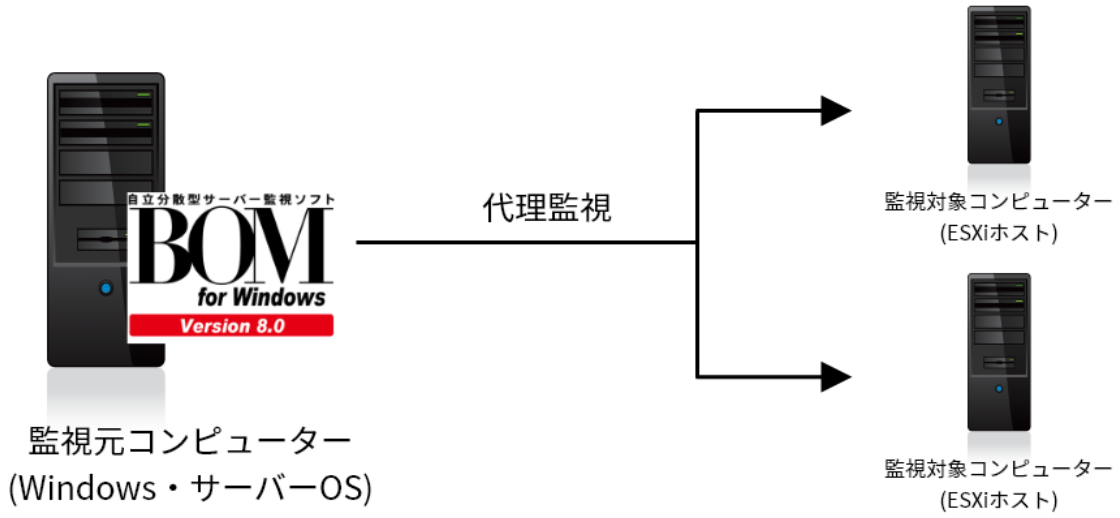
※ Linuxはローカル監視の対象外です。監視対象コンピューターより代理監視を利用して監視を実行します。

ライセンス	型番	数量

ライセンス	型番	数量
BOM for Windows Ver.8.0 基本パッケージ	B80-SV-1P	1
BOM Linuxオプション Ver.8.0 ゲストOS用追加1ライセンス	BLI-80-1VL	2

3. VMware

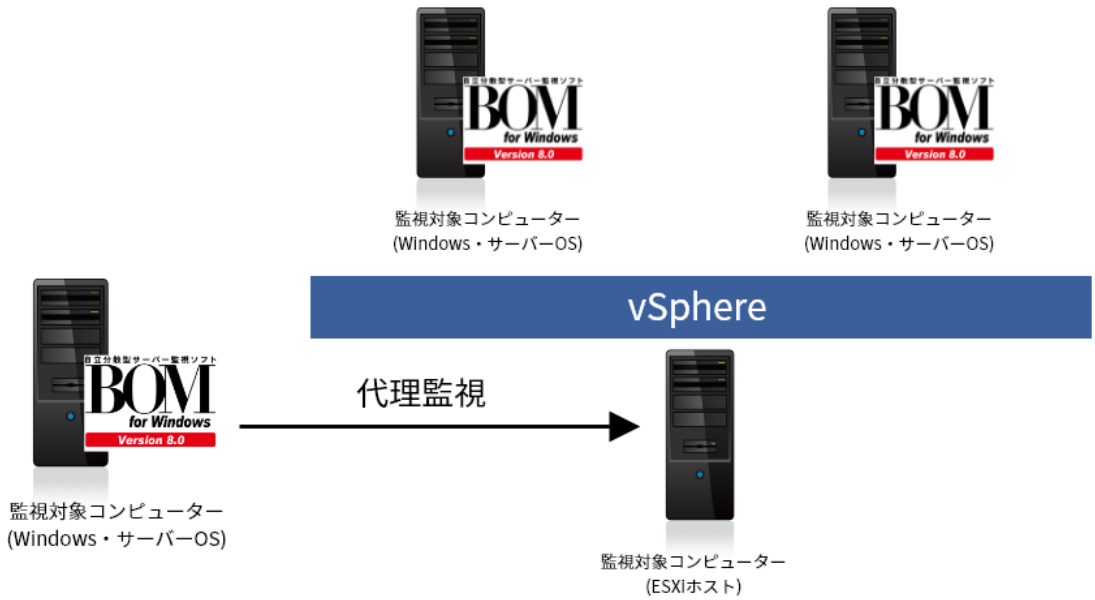
(1) 監視対象：ESXiホスト2台



※ ESXiホストはローカル監視の対象外です。監視元コンピューターより代理監視を利用して監視を実行します。
※ 監視元のコンピューターに基本パッケージが1本必要です。

ライセンス	型番	数量
BOM for Windows Ver.8.0 基本パッケージ	B80-SV-1P	1
BOM VMwareオプション Ver.8.0	BVM-80-1L	2

(2) 監視対象：ESXiホスト1台、Windowsコンピューター（サーバーOS・物理）1台、Windowsコンピューター（サーバーOS・仮想）2台

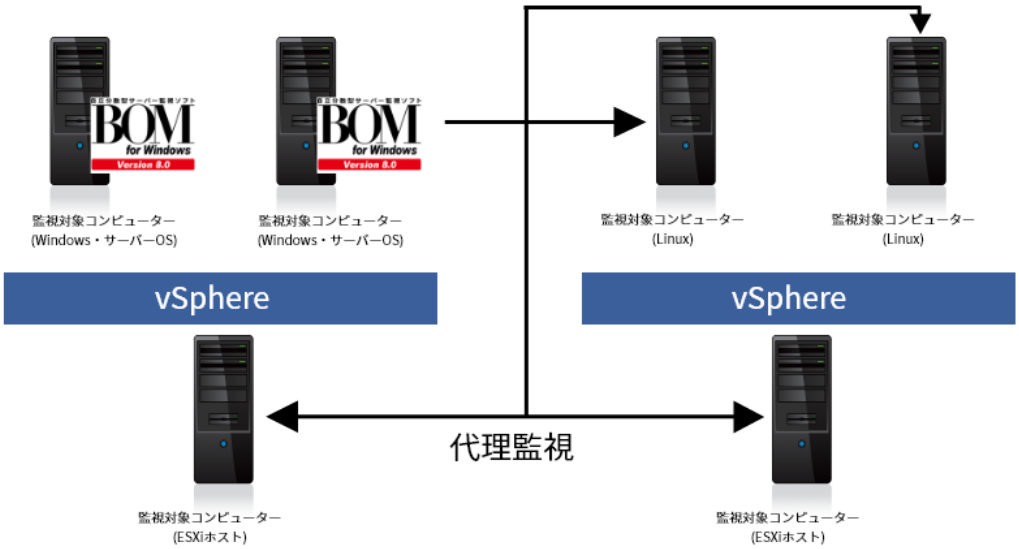


※ ESXiホストはローカル監視の対象外です。監視対象コンピューターより代理監視を利用して監視を実行します。

ライセンス	型番	数量

ライセンス	型番	数量
BOM for Windows Ver.8.0 基本パッケージ	B80-SV-1P	1
BOM VMwareオプション Ver.8.0	BVM-80-1L	1
BOM for Windows Ver.8.0 ゲストOS用追加1ライセンス	B80-SV-1VL	2

(3) 監視対象：ESXiホスト2台、Windowsコンピューター（サーバーOS・仮想）2台、Linuxコンピューター（仮想）2台



※ 監視対象コンピューター(Windows・サーバーOS)のうち1台は、基本パッケージのライセンスを適用します。
※ Linuxはローカル監視の対象外です。監視対象コンピューターより代理監視を利用して監視を実行します。
※ ESXiホストはローカル監視の対象外です。監視対象コンピューターより代理監視を利用して監視を実行します。

ライセンス	型番	数量
BOM for Windows Ver.8.0 基本パッケージ	B80-SV-1P	1
BOM VMwareオプション Ver.8.0	BVM-80-1L	2
BOM for Windows Ver.8.0 ゲストOS用追加1ライセンス	B80-SV-1VL	1
BOM Linuxオプション Ver.8.0 ゲストOS用追加1ライセンス	BLI-80-1VL	2

4. Oracle DB、SQL Server

(1) 監視対象：Oracle DB 2台、Windowsコンピューター（サーバーOS・物理）1台、Windowsコンピューター（サーバーOS・仮想）2台

※ Oracle DBは代理監視の対象外です。Oracle DBがインストールされた監視対象コンピューターよりローカル監視を利用して監視を実行します。
※ Oracle DBの監視対象は、Windows ServerにインストールされたOracle DBのみです。LinuxやWindows クライアントOSは対象外です。

ライセンス	型番	数量
BOM for Windows Ver.8.0 基本パッケージ	B80-SV-1P	1
BOM for Windows Ver.8.0 ゲストOS用追加1ライセンス	B80-SV-1VL	2
BOM Oracleオプション Ver.8.0	BOR-80-1L	2

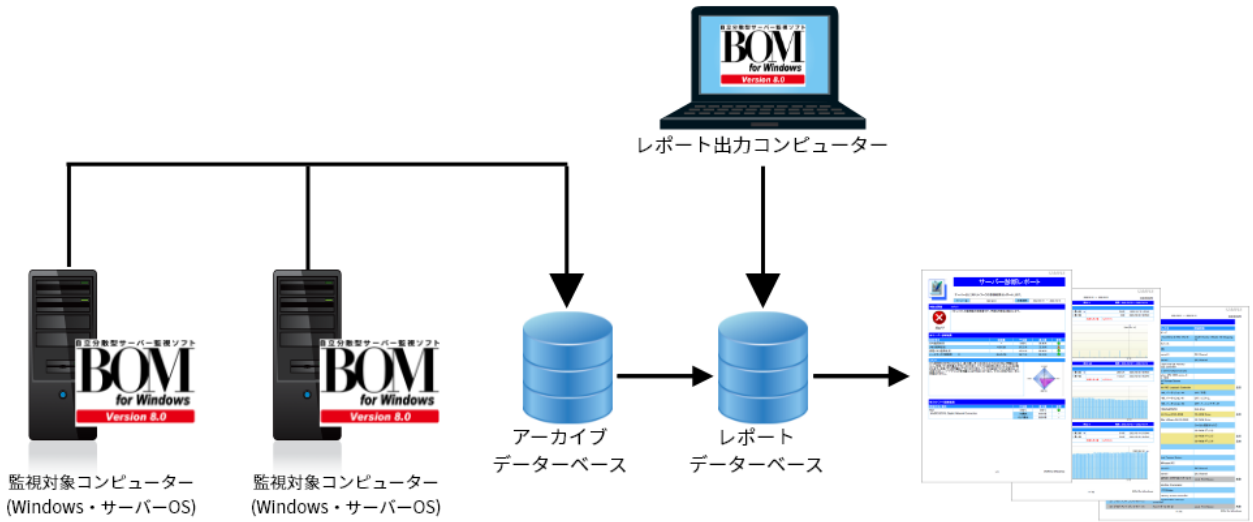
(2) 監視対象：SQL Server 2台、Windowsコンピューター（サーバーOS・物理）1台、Windowsコンピューター（サーバーOS・仮想）2台

※ SQL Serverは代理監視の対象外です。SQL Serverがインストールされた監視対象コンピューターよりローカル監視を利用して監視を実行します。
※ SQL Serverの監視対象は、Windows ServerにインストールされたSQL Serverのみです。LinuxやWindows クライアントOSは対象外です。

ライセンス	型番	数量
BOM for Windows Ver.8.0 基本パッケージ	B80-SV-1P	1
BOM for Windows Ver.8.0 ゲストOS用追加1ライセンス	B80-SV-1VL	2
BOM SQLオプション Ver.8.0	BSQ-80-1L	2

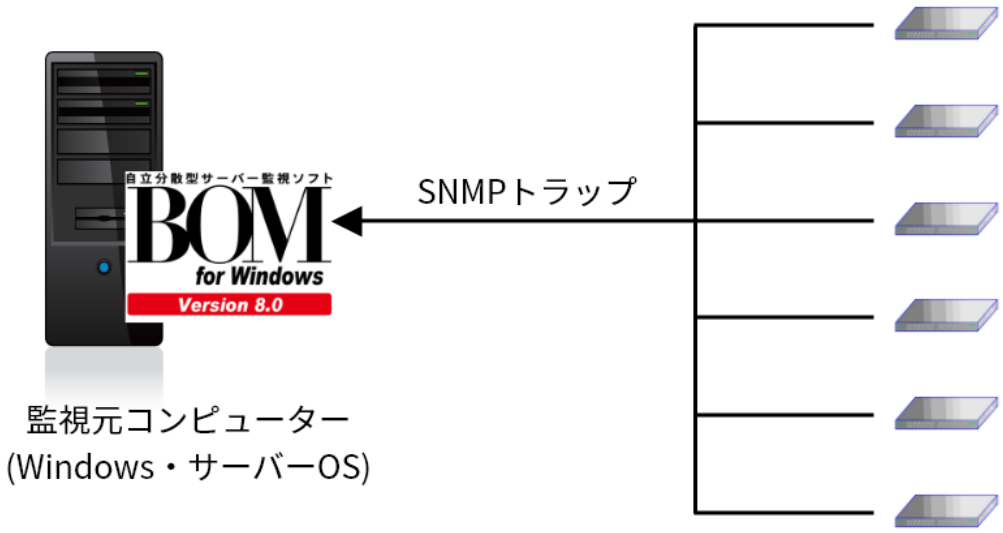
5. その他

(1) 監視対象：Windowsコンピューター（サーバーOS・物理）3台、Report オプション - 監視対象3台分のレポート作成



ライセンス	型番	数量
BOM for Windows Ver.8.0 基本パッケージ	B80-SV-1P	1
BOM for Windows Ver.8.0 サーバー追加1ライセンス	B80-SV-1L	3
BOM Reportオプション Ver.8.0	BRP-80-1L	1

(2) 監視対象：複数のネットワーク機器等からSNMPトラップを受信



※ 監視元のコンピューターに基本パッケージが1本必要です。
※ SNMPトラップ受信機能は基本機能に含まれています。

ライセンス	型番	数量
BOM for Windows Ver.8.0 基本パッケージ	B80-SV-1P	1

BOM for Windows Ver.8.0 ライセンスガイド

2022年05月11日 初版
2024年03月1日 改訂

著者・発行者・発行
セイ・テクノロジーズ株式会社

バージョン Ver.8.0.10.0

(C) 2022 SAY Technologies, Inc.